

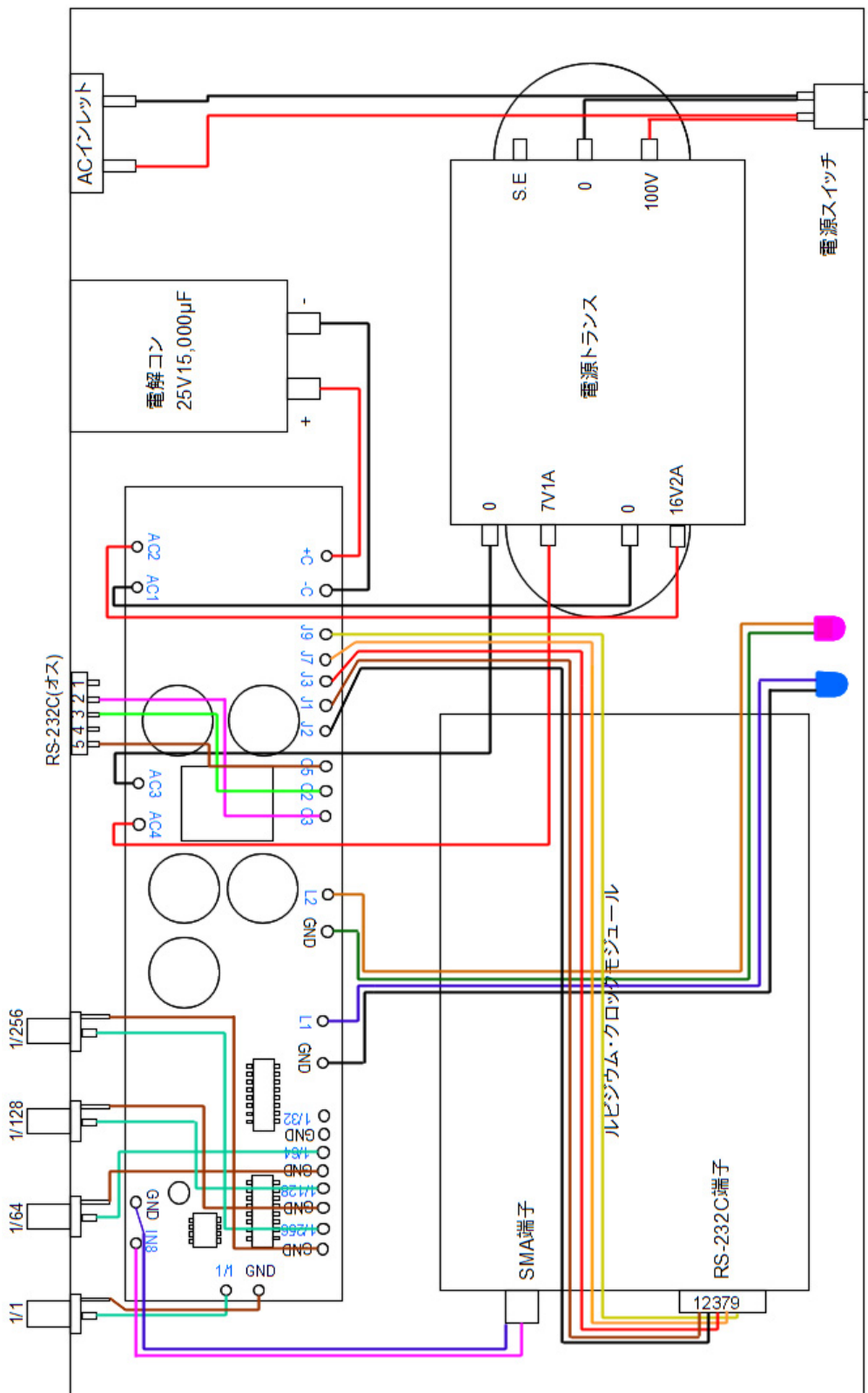
illusion RubiClock 組立説明書

1. パーツリスト	2
2. 配線図	3
3. 組立例	4
4. 組立手順	5
5. 補足	10

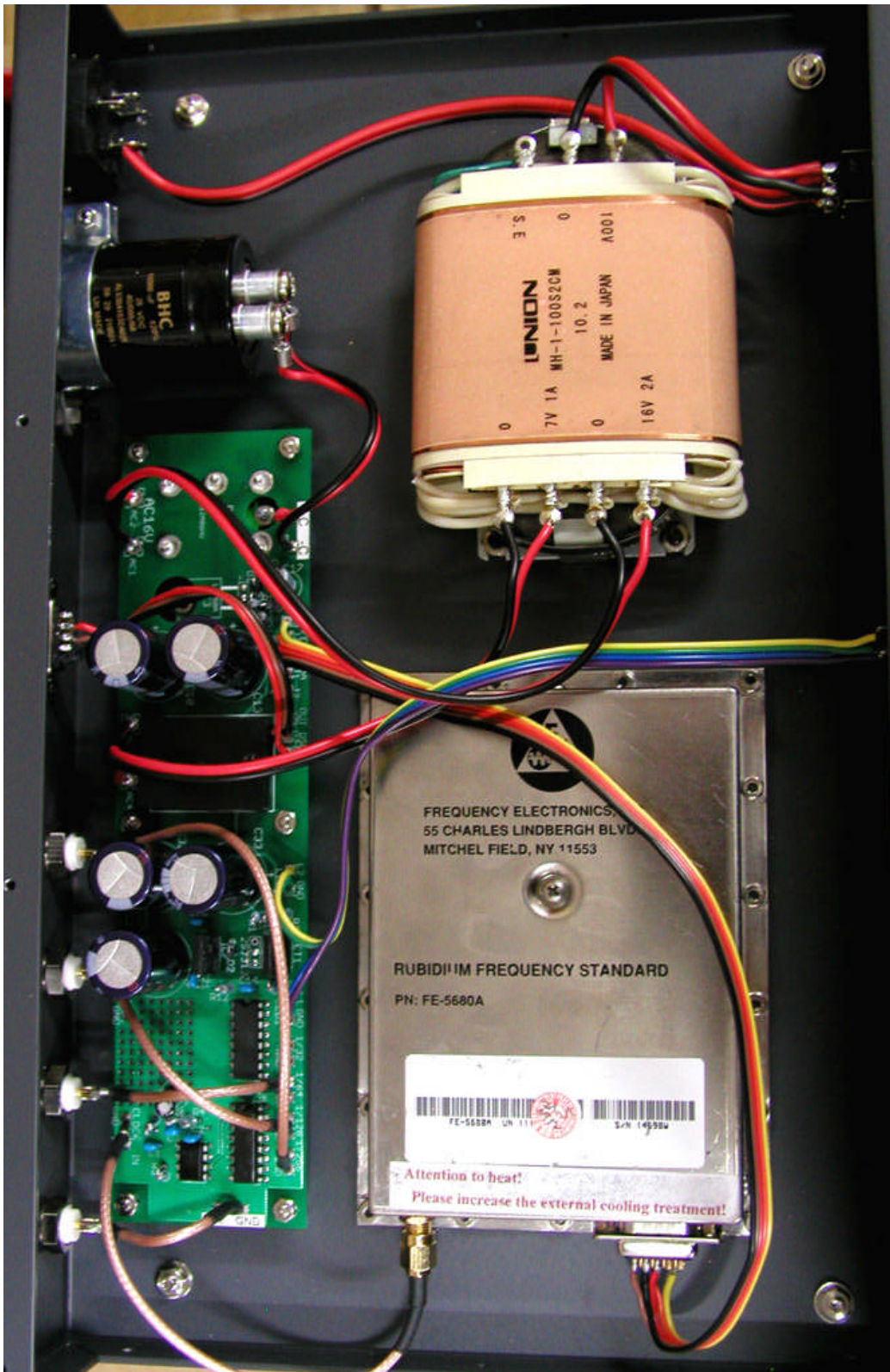
1.パーツリスト

AC コード	1	LED	1
AC インレット	1	LED(青)	1
M3x6 黒皿ネジ	2	LED(ピンク)	1
ミゼットヒューズ(2A)	1	LED 固定部品(プラスチック)	2
電源スイッチ	1	LED 固定用 L アングル	2
M6 ボルト(電源スイッチ固定用工具)		収縮チューブ	1
BNC 端子	4	フラットケーブル	
RS-232C 端子[オス](ケース取り付け用)	1	4 本線	30cm
M3x6 黒皿ネジ	2	3 本線	30cm
M3 ナット	2	5 本線	30cm
RS-232C 端子[メス](クロック用)	1	赤黒 2 本線(電源回り配線用)	1m
ルビジウム・モジュール	1	銅足	4 個
M3x6 黒皿ネジ	16	M4x15 皿ネジ	4
M3 ナット	16	M4 ナット	4
電源トランス	1	M4 平ワッシャ	1
M4x10 黒皿ネジ	4	ケース(シャーシ)	1
M4 ナット	4	ケース(蓋)	18 本
制御基板	1	蓋固定用 M3x6 黒皿ネジ	1
M3x6 黒皿ネジ	6	正面パネル	4
M3x12 黒皿ネジ	2	キャップネジ	1
M3 ナット	8	周波数設定 CD	
SMA ケーブル(先バラ)			
シリコングリス	1		
電解コン(25V15,000uF)	1		
電解コン取付金具	1		
M4x10 黒皿ネジ	2		
M4 ナット	2		
M3x10 ナベ	1		
M3 ナット	1		
M4x8 ナベ(電解コン端子固定用)	2		
圧着端子	2		

2. 配線図



3.組立例



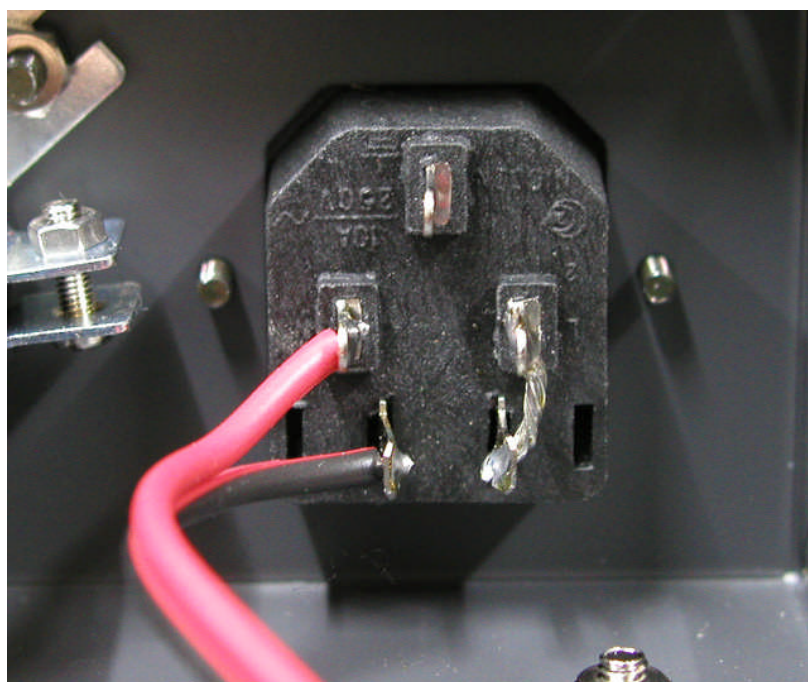
4.組立手順

- 1.足をネジ止めします
- 2.正面パネルに LED を取り付けます
- 3.正面パネルを取り付けます
- 4.電源スイッチを取り付けます
- 5.電源トランス、AC インレット、BNC 端子、RS-232C 端子を取り付けます
- 6.シリコングリスをルビジウム・モジュールの底面に塗り、シャーシにネジ止めします
- 7.制御基板の下に取り付けられている出川式モジュールにシリコングリスを塗ってからシャーシにネジ止めします。

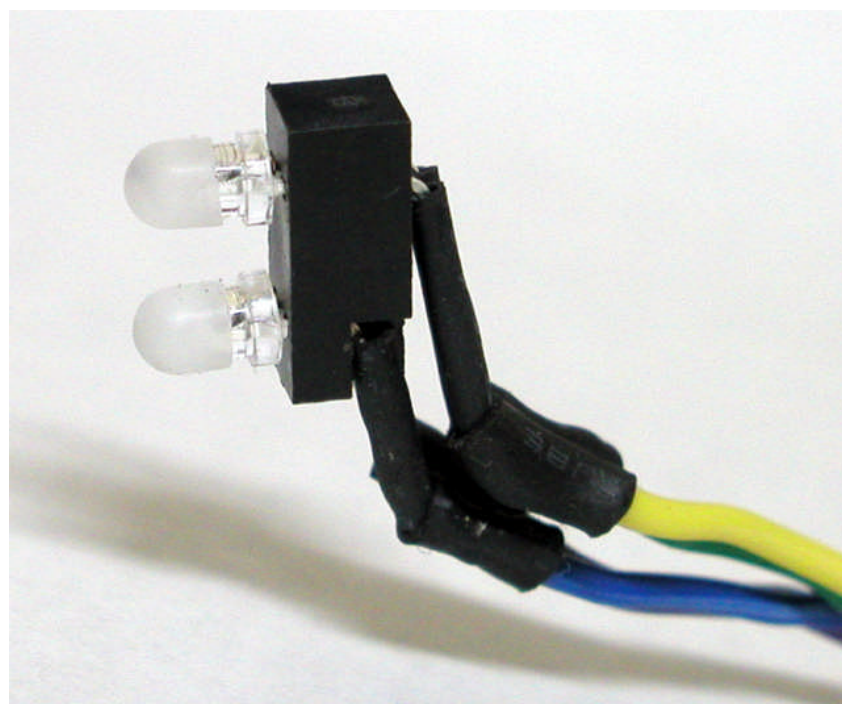
※出川式モジュールの隣りにシリコンシート付きの 3 端子が付いています。この 3 端子は絶縁した状態で取り付けなければなりませんので、付属のシリコンシートをネジ穴位置を合わせてシャーシに置き、その上から 3 端子を静かに乗せて、下から上にネジを通し、ナットで止めます。この作業は位置合わせが難しいので慎重に行ってください。制御基板取り付け後、シリコンシートが曲がって 3 端子の金属部分がシャーシに接触すると動作不良を起こします。また 3 端子のネジ穴に付いている耐熱ワッシャも絶縁に必要ですので絶縁ワッシャを取り付けそのままネジ止めして下さい。

- 8.配線図に従って配線します。電源回りの配線は赤黒がペアになった線で配線するときれいにできます。

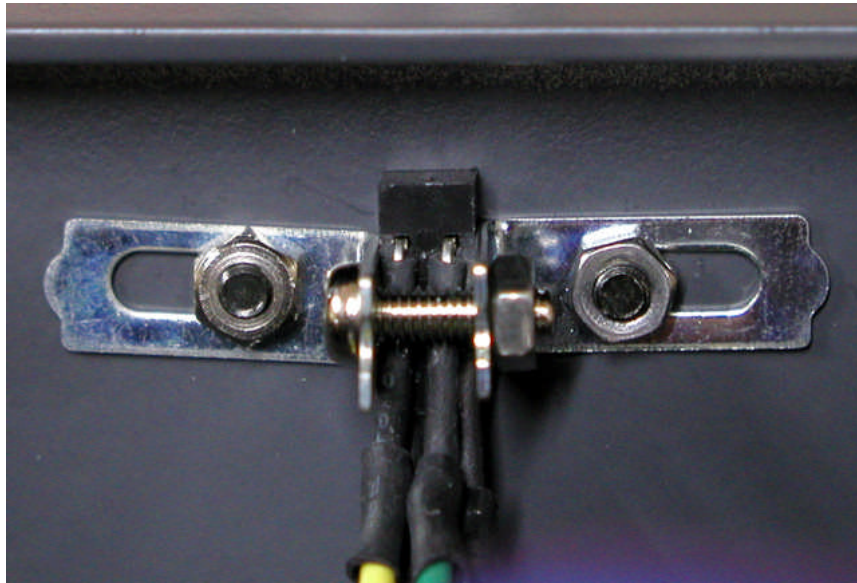
AC インレットは以下のように配線します。下に付いているヒューズとの間も配線します。



LED は、先に収縮チューブで LED のリード線がショートしないように保護しておいてから、LED 用の線を取り付けます。



その後、シャーシ前面の LED の穴に差し込み、L アンクルで両側から挟んだ状態で前面からネジで固定します。最後に 2 個の L アンクルの間もネジで固定して完成です。



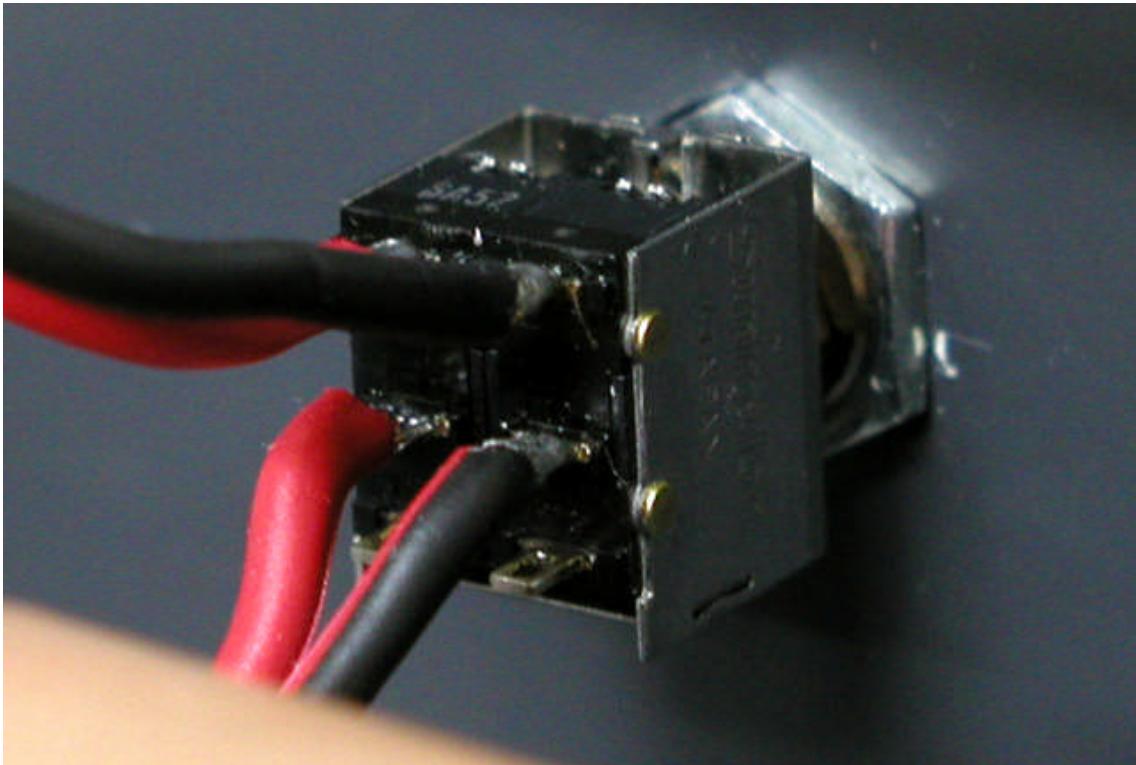
電源スイッチは、LED 取り付け→正面パネル取り付け後に行います。
電源スイッチを正面パネルに取り付けるとき、しっかり固定するのが難しいため、以下の方法で取り付けます。電源スイッチの前の部分を取り外して付属の6mm ボルトを入れて回します。すると中央の穴の中に少しだけ入って止まります。



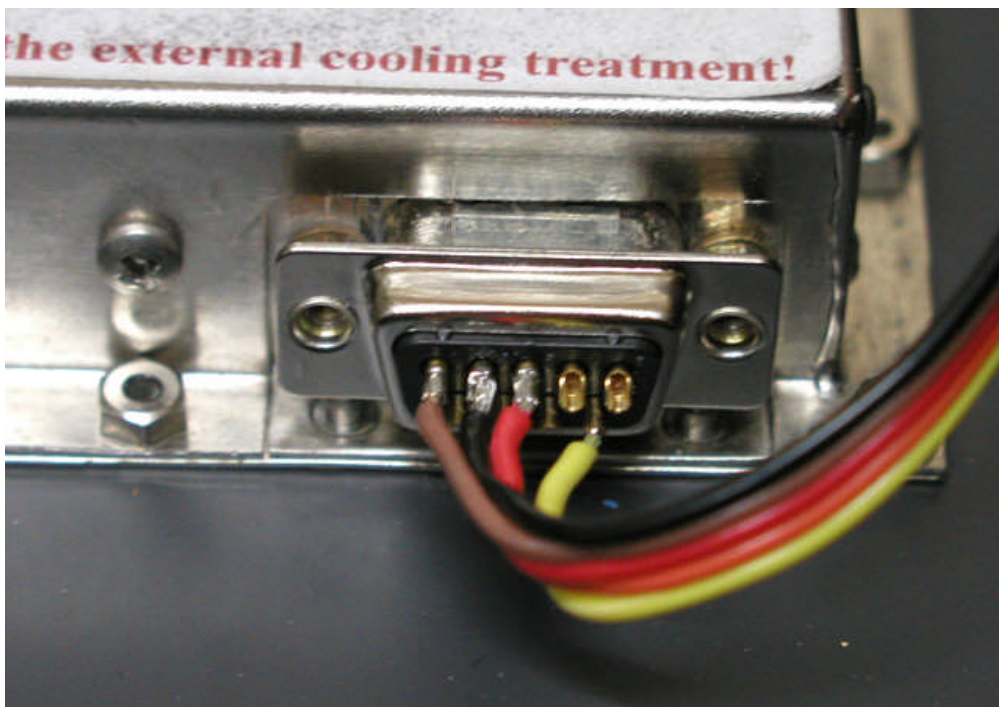
ボルトが中央の穴に入ったところ

この状態で正面パネルに差し込み、背面からナットで固定します。固定し終わったら、スイッチ本体を背面から差し込んで固定します。

端子の配線は以下のようにします。



ルビジウム・モジュールから出ている RS-232C 端子の接続は、付属の RS-232C コネクタにハンダ付けします。



端子番号は左から 1,2,3,4,5、下の段の左から 6,7,8,9 です。制御基板上に記載されている J1,J2 などの数字が端子の番号と一致しています。J1 は 1 番の端子

に、J2 は 2 番の端子にハンダ付けします。

制御基板から背面の RS-232C 端子に接続する端子番号は O2,O3,O5 となっていますが、クロス接続にするため、O3 は RS-232C の 2 番に、O2 は 3 番に接続します。O5 は 5 番に接続します。

5.補足

※ BHC 電解コンデンサの電極部についている茶色の汚れですが、販売代理店に確認しましたところ、品質には問題ないとの回答でした。液もれのように見えますが単なる汚れですので、気になる場合はヤスリなどで落としてお使い下さい。